

別紙 2 - 2

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 28 年 8 月 30 日 (15 : 00 ~ 17 : 00)
1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	荒木、遠藤、大畑、白田、中山ゆ、中村す、中山の、荒田、鷹家、朝山、笠松、榎本、王、塩路、谷口、中村み、中塔、吉本、小村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	1 2	5	0	1 8
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	1 1	3	2	1 8
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	5	1 1	2	0	1 8
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	4	9	3	2	1 8

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
初期支援は、家族、本人への不安解消に努めるよう、フェースシート、申し送りノートを利用しながら、情報共有に努めている。職員一人ひとりの気づきや、利用者との何気ない会話から得た情報も皆で情報共有できるよう心がけている。気持ちに寄り添えるよう、声掛け、目配りにも利用者の立場で考えるように努めている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
職員の心構えが出来ぬまま新規の利用者を受け入れることも有り、情報共有が行き届かぬ事が多々有る。また、職員の勤務体制で勤務日数に間が空くと利用者の情報収集に時間がかかり、現状に沿ったケアが行き届かない事もある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
利用者からの意思表示が少ない場合は、現場の介護者も送迎時や家族面会時に積極的に家族とも関わり、コミュニケーションを図ることに努める。職員の勤務時間には制限があるため利用者の情報を朝礼等の「口頭」手段も用い共有する。しかし、夜勤専従職員もいる為、引き続き申し送りノートの活用は有効であるため続ける。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 8 月 30 日 (15 : 00 ~ 17 : 00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 荒木、遠藤、大畑、白田、中山ゆ、中村す、中山の、荒田、鷹家、朝山、笠松、榎本、王、塩路、谷口、中村み、中塔、吉本、小村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	2	6	6	4	18
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	2	7	4	5	18
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	2	6	6	4	18
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	3	9	6	18

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
ケアプランを元に職員が「個別介護計画」を作成している。それらから汲み取った利用者本人の目標を確認し、行動を促している。また、本人、家族から出た希望に関しては管理者や、ケアマネージャーにタイムリーに報告し、「～したい」の発信がスムーズに行えるサポートが出来ている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
勤務時間数の少ない職員に多く見られるが、ケアプラン、個別介護計画の把握が出来ておらず、本人の目標が確認できないまま関わっている。意思疎通がままならない方へは「おおよそ」での対応となってしまう。また、日々の業務に終われ、目標が置き去りにになっている。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
職員会議や朝礼で、本人の目標を定期的に確認していく手段を確保する。(初期支援時のみの確認では忘れてしまう。) 本人の目標を ADL 表に記入していく。
※ADL 表…利用開始時に本人の ADL をケアマネージャーがまとめたもの。食事、排泄、入浴等の形態が一目でわかるように作成している。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 8 月 30 日 (15 : 00 ~ 17 : 00)

3. 日常生活の支援

メンバー 荒木、遠藤、大畑、白田、中山ゆ、中村す、中山の、荒田、鷹家、朝山、笠松、榎本、王、塩路、谷口、中村み、中塔、吉本、小村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1	2	8	7	18
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	7	11	0	0	18
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	12	3	2	18
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	5	12	1	0	18
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	5	12	1	0	18

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 一行動行う前には必ず声をかけ、本人の同意を得てから行動に移している。基礎的な介護については利用開始前にADLについての注意点を職員間で共有している。また、利用初日は出来る限り看護師を出勤させ、身体状況の把握も行っている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 一部の職員間での情報共有となっている。口頭で聴いた情報を書式化して申し送れていない。気づきや変化も記録に残そうと思っても日々の業務に終われ、後で、後でと思い忘れてしまう。
 事業所利用以外の生活ぶりが介護職員へは把握困難である。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 業務を効率良く実施できるように見直す。日々の対応が大変な利用者ばかりに目がいってしまう傾向にあるため、意思表示の少ない利用者へ個別に関わる時間を設ける。(午後の落ち着いている時間等) ケアプランが変更になるたびにケアマネから介護職員への伝達を行う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 8 月 30 日 (15 : 00 ~ 17 : 00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 荒木、遠藤、大畑、白田、中山ゆ、中村す、中山の、荒田、鷹家、朝山、笠松、榎本、王、塩路、谷口、中村み、中塔、吉本、小村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	6	10	1	18
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	2	6	7	2	18
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	6	9	2	18
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1	0	12	5	18

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用者との昔話等でライフスタイルを汲み取っている。自宅にて訪問支援を行う利用者には生活スタイルを確認し、他職員へ情報共有している。送迎時に近所の人と出会った場合も積極的に挨拶等を行いコミュニケーションを持つようにしている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
利用者の生活を 24 時間見ることは困難である。民生委員、地域資源の把握は遠方から勤務する職員には把握しづらい。利用時間以外の自宅での様子を尋ねる事に気が引ける職員もいる。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
ケアマネージャー、管理者を通じて利用者の住む地域の特性について学ぶ機会を設ける。(職員会議等) 民生委員や地域資源とは何かを知らない職員もいる為、研修機会を設け知識習得を行う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 8 月 30 日 (15 : 00 ~ 17 : 00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 荒木、遠藤、大畑、白田、中山ゆ、中村す、中山の、荒田、鷹家、朝山、笠松、榎本、王、塩路、谷口、中村み、中塔、吉本、小村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	11	3	3	18
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	9	8	0	1	18
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	6	8	4	0	18
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	6	10	2	0	18

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 急な家族、本人の生活状況、希望に対応できている。特に急な精神の不安、体調の不安にも安心できるよう訪問、宿泊を組み合わせ対応できている。
 地域のボランティア (清掃・園芸等)、保育所園児が定期的に訪問し交流を図っている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 公的なボランティア受け入れは行っているが、地域の住民との交流が少ない。事業所前に作成した掲示板を活用し、事業所での活動を発信しているがどこまで浸透できているかは不明。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
 小規模多機能の運営について知識が浅い職員もいる為、研修を行い小規模多機能で対応可能な業務を学び、様々な関わりを持てるよう努める。
 また、日々のかかわりがミーティングで発言し易い職場風土を作り、地域資源への気づきは職員アンケート等を行い情報収集する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 8 月 30 日 (15 : 00 ~ 17 : 00)

6. 連携・協働

メンバー 荒木、遠藤、大畑、白田、中山ゆ、中村す、中山の、荒田、鷹家、朝山、笠松、榎本、王、塩路、谷口、中村み、中塔、吉本、小村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	2	3	5	8	18
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	2	0	4	12	18
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	2	2	5	9	18
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	4	8	1	5	18

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
地域の行事には出来る限り参加しようと努めている。H28 年度より自治会加入を行い情報収集に努めている。消防訓練も職員全員参加を促し、地域住民の見学も事業所掲示板で呼びかけている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
特定の利用者のイベント参加のみに留まっている。自治体や包括等の会議には介護職以外の参加が主で、職員全体としての情報は少ない。
また地域の高齢者や子供の突然の訪問は建物の構造上、セキュリティーの問題もあり実施できていない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
その他サービス機関や自治体等の会議は参加した者が情報開示していくよう努める。
また、地域住民や子供との交流は「誰もがふらっと立ち寄れる」という雰囲気をかもし出せるよう、建物の装飾や、掲示について職員一同検討していく。
地域の方々と関わりあえるイベントを実施したいとの職員からの意見も出ている。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 8 月 30 日 (15 : 00 ~ 17 : 00)

7. 運営

メンバー 荒木、遠藤、大畑、白田、中山ゆ、中村す、中山の、荒田、鷹家、朝山、笠松、榎本、王、塩路、谷口、中村み、中塔、吉本、小村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているですか?	4	7	2	5	18
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	5	8	4	1	18
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	7	5	3	18
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	2	6	5	5	18

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 管理者を窓口として、職員会議、連絡ノート、朝礼を通じて職員間に周知できている。
 また家族や、利用者からの運営についてのご意見はその日のうちに職員間で話し合う機会を持ち迅速な対応が出来ている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 運営推進会議の存在は知っていても、内容まで周知している職員は少ない。
 家族、利用者については契約時にどなたでも参加している事は伝えているが、実際は敬遠される事が多く、会議の重要性については周知できていないように感じる。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
 閉鎖的な建物構造に感じる事業所イメージを事業所発信のイベントを企画し地域と関わっていく。(もちつき、夏祭り等)
 事業所玄関にある「ご意見箱」の再度設置場所を検討し、意見が収集し易い環境を整備する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 8 月 30 日 (15 : 00 ~ 17 : 00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 荒木、遠藤、大畑、白田、中山ゆ、中村す、中山の、荒田、鷹家、朝山、笠松、榎本、王、塩路、谷口、中村み、中塔、吉本、小村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	2	6	5	5	18
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	3	5	8	18
③	地域連絡会に参加していますか	1	0	4	14	18
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	6	4	7	18

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
職員会議へ参加し、法令研修等について学びは出来ている。職員自身自身で資格取得のスキルアップに励んでいる職員もいる。法人主催の資格取得研修に参加している職員もいる。
地域連絡会は 1 ヶ月に 1 回あるが、管理者が参加し伊丹市の情報等を職員へ伝えている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
介護職員は地域連絡会へは参加する機会が無い。リスクマネジメントについては振り返りが手薄である。市へ報告するような大きな事故ばかり振り返りに注力している傾向がある。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
法人全体の取り組みでリスクマネジメントについての取り組みを進めている。
気づきノート、ヒヤリハットを意識的にピックアップする。業務に追われて見過ごさないようにする。
研修は季節ごとぐらいの頻度で、職員が希望する物を実施して欲しいとの意見もあるため、アンケートを通じて、学びたいことを聞き取り、実施していく予定。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 8 月 30 日 (15 : 00 ~ 17 : 00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 荒木、遠藤、大畑、白田、中山ゆ、中村す、中山の、荒田、鷹家、朝山、笠松、榎本、王、塩路、谷口、中村み、中塔、吉本、小村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	17	1	0	0	18
②	虐待は行われていない	16	1	0	1	18
③	プライバシーが守られている	12	5	0	1	18
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	1	2	13	18
⑤	適正な個人情報の管理ができている	11	5	1	1	18

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用者に無理強いせず、本人の残存能力を活かしながらかかわれている。常に優しく安全第一で接している。身体拘束は絶対に行わないとの理念で統一できている。羞恥心、プライバシーの保護についても職員会議で研修を実施し定期的に振り返る機会を設けている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
後見制度については理解に乏しいところがあり、事業所全体で理解を深めていかなければならない。個人情報施錠できるキャビネットへ保管しているが、職員同士の立ち話等で無意識のうちに開示している可能性もあり、配慮が必要かと思われるときもある。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
適切にプライバシーが守られる配慮がされているか振り返りが必要。
チェックリスト等を用いて職員全体で振り返る機会を設ける事も案として出ている。